

第5回シスコテクノロジーコンテスト作品説明資料

現場の状況をリアルタイムで把握

- Cisco Webex Teamsを活用した音声コミュニケーション
- Cisco x Apple Fastlaneを活用したLIVE動画機能

株式会社サイエンスアーツ

開発本部：樋口大輝、平岡竜太郎

アートディレクター：伊藤恵

営業本部：加納佐有子

● 目的

【現状と課題】

- ①人手不足、外国人の登用が拡大する多くの業種において
現場と本部のコミュニケーション、管理体制の整理は喫緊の課題となっています。
- ②作業効率化の為に現場で働くスタッフへのスマホ、タブレットの導入が進んでおり
チャットツールの活用も普及していますが文字を打つのが困難な場面もあります。
- ③有事の際、現場での対応が優先され、
本部への報告が後手にまわってしまったり、情報の集約に時間がかかり、
対応に遅れの出してしまう事があります。
- ④動画による施設管理や店内巡回のニーズが高まっており
業務利用としてより優れたワイアレス環境を求められています。

Buddycomとは

インターネット通信を利用して、無線機やトランシーバーのように一斉音声通話ができるスマホIP無線アプリです。

新機能リリース /

音声テキスト化、
パラレル翻訳

国内特許登録済み
(JP6318292)、
PCT国際出願済み



機能① 音声発信
グループのメンバー(無制限)に対し
音声を一斉発信できます。



機能② 音声テキスト化
話した内容がテキスト化され
過去の会話を文字で確認する事が
できます。



機能③ LIVEキャスト
現場の状況を生放送で
グループのメンバーに共有
することができます。

● Ciscoのテクノロジーを利用する事による付加価値

【期待できる効果、目的】

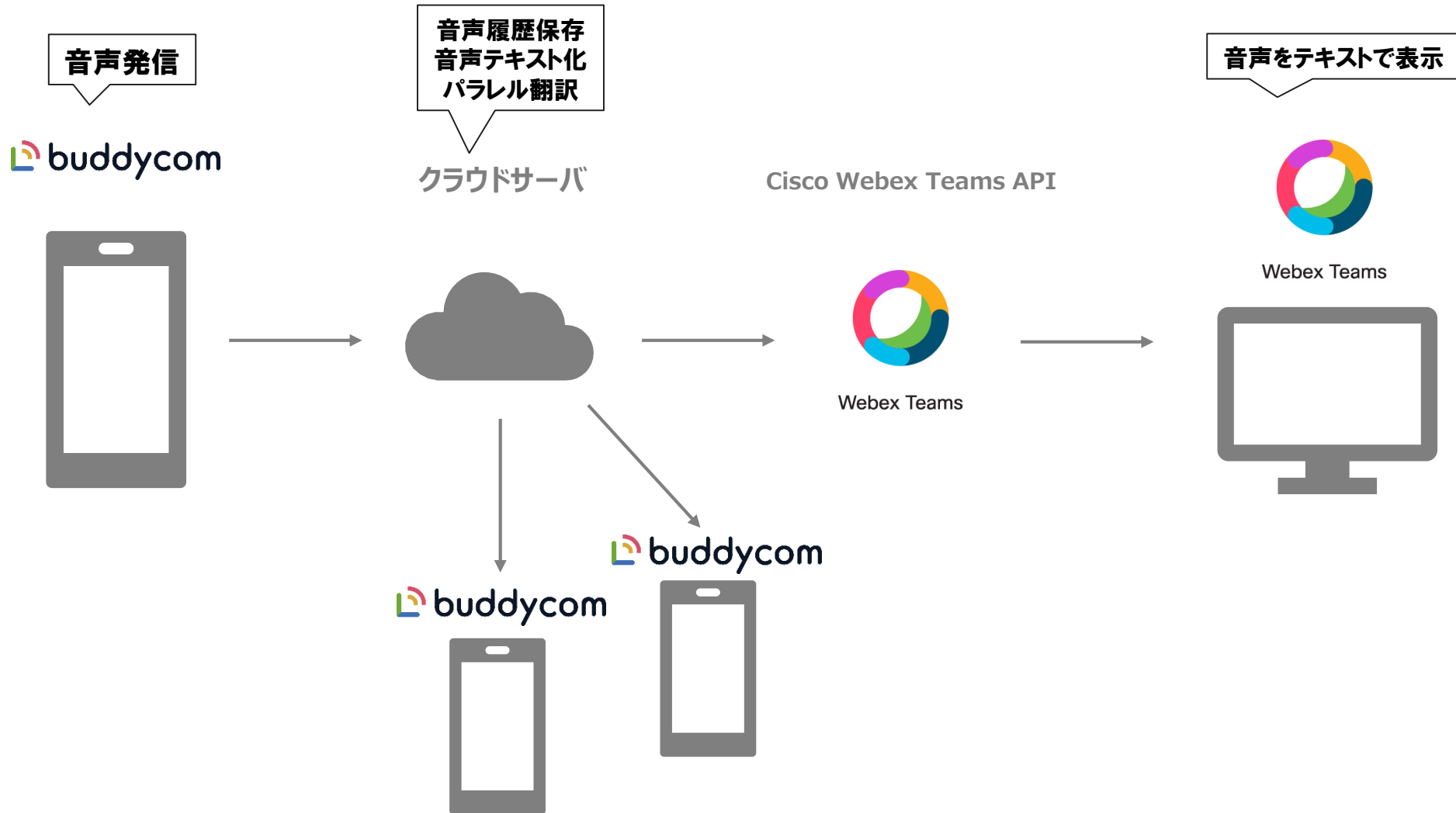
Webex Teamsを活用する事により

- ・現場の会話をリアルタイムで本部が把握する事により報告を待つ、催促する負担を削減します。
- ・現場からはテキストではなく声で状況報告を行うことができます。
- ・翻訳機能で外国人の発話も日本語に自動翻訳され表示されます。
- ・Buddycomと連携する事によりTeamsの活用事例が広がります。

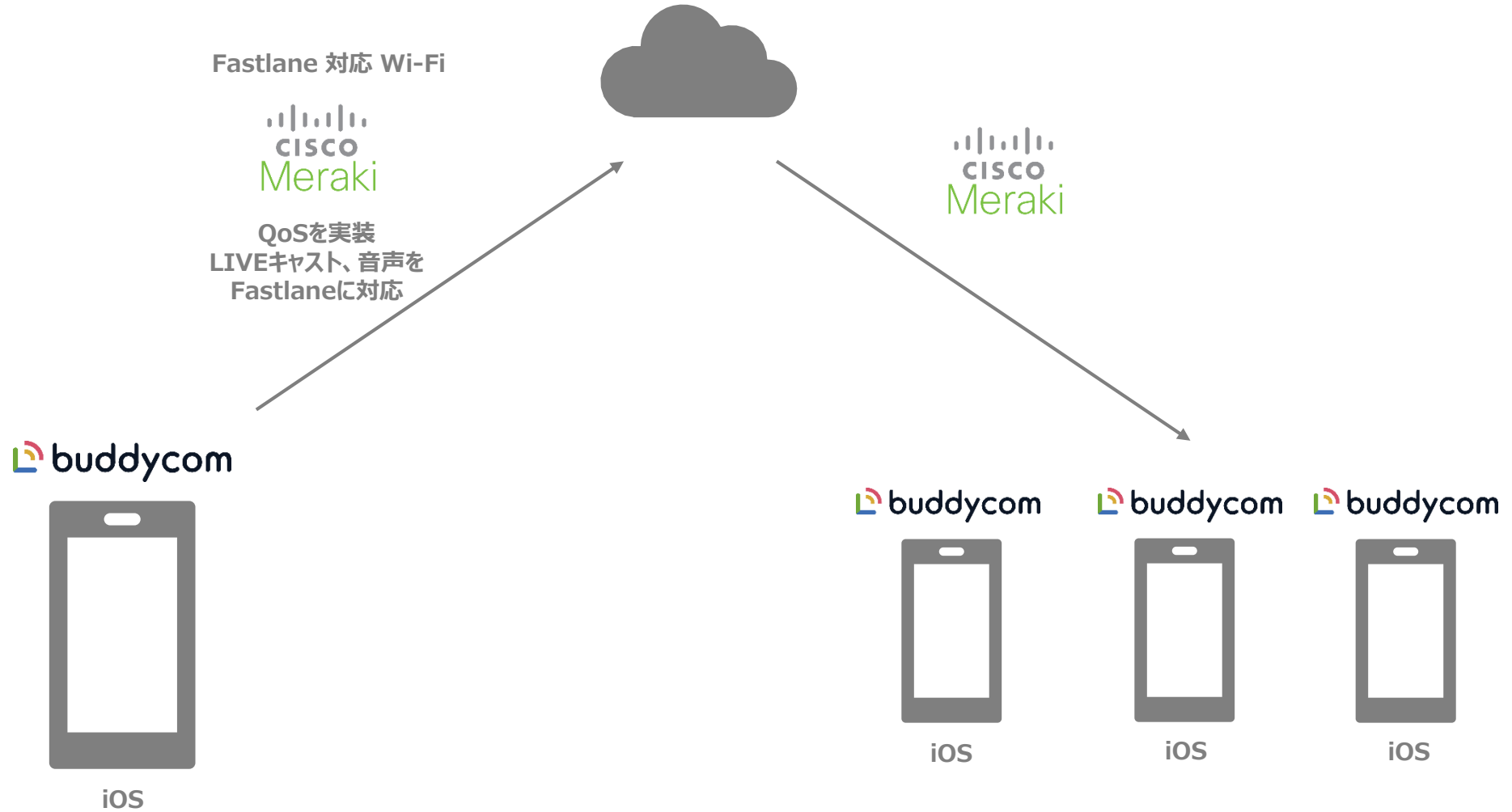
Fastlaneを活用する事により

- ・ワイアレス環境で最適化されたパフォーマンスを構築できます。
- ・LIVEキャスト機能など帯域が必要な機能を最大効果で使用できます。
- ・Cisco AP、iOSの活用の幅を広げます。

● 構成図 -Cisco Webex Teamsとの連携-



● 構成図 -Apple Fastlaneとの連携-



● プログラム実行環境 -Cisco Webex Teamsとの連携-

クライアントアプリ

Buddycom

対応OS : iOS 10.0以降 / Android 5.0以降

管理コンソール : Microsoft Edge 42以降 / Google Chrome 67以降 / Firefox 57以降

サーバ

Buddycomにて使用しているクラウドサーバ（非公開）

Cisco Webex Teams

<https://developer.webex.com/>

● プログラム実行環境 -Apple Fastlaneとの連携-

クライアントアプリ

Buddycom

対応OS : iOS 10.0以降 / Android 5.0以降

管理コンソール : Microsoft Edge 42以降 / Google Chrome 67以降 / Firefox 57以降

サーバ

Buddycomにて使用しているクラウドサーバ（非公開）

AP

Cisco Meraki MR33

スマートフォン

iOS 10.0以降